

風と水の彫刻家



横須賀美術館
YOKOSUKA MUSEUM OF ART

新宮晋の宇宙船

SPACESHIP Susumu Shingu



2016年11月3日(木・祝) - 12月25日(日) | 開館時間:10:00-18:00 | 休館日:11月7日(月)、12月5日(月) | 11月3日(木・祝)は無料観覧日

観覧料:一般900(720)円 高大・65歳以上700(560)円 中学生以下無料 ○()内は20名以上の団体料金および前売り料金(前売りは11月2日まで) ○前売り券は美術館受付、横須賀芸術劇場チケットセンター(横須賀芸術劇場1階、横須賀中央駅モアーズシティ1階)でお求めになれます ○市内在住在学の高校生は無料 ○身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と付添1名様は無料
主催:横須賀美術館 | 企画協力:株式会社SDアート | お問い合わせ:横須賀美術館 〒239-0813 横須賀市鶴居4-1 TEL:046-845-1211(代表) ホームページ <http://www.yokosuka-moa.jp/> モバイルサイト <http://mobile.yokosuka-moa.jp/>  

新宮 晋の宇宙船

SPACESHIP Susumu Shingu

「無限に広がる宇宙に存在する数えきれない星の中でも、色彩豊かで、様々な光や音が響き合う、とびっきりユニークな星、地球に、一人の人間としてボクは生まれた。これはどう考えても、奇跡としか言いようがない」*

1960年代半ば以降、一貫して風や水などの自然エネルギーで動く彫刻を制作してきた新宮晋。彼が生み出す作品は、この「奇跡」にあずかった作家自身の喜びと感動を映し出しています。風、水、重力、熱、光……。絵を描くことや工作が何よりも好きだった少年時代と変わることなく、目の前に展開する世界に対し常に新鮮な驚きと好奇心をもって向き合う新宮のくもりのない真っ直ぐなまなざしは、我々をとりまき、我々を生かしている様々な要素を照らしています。そして、彼の動く彫刻たちは、地球の自然環境や宇宙のしくみといった壮大なテーマをうたうのです。風をかたちにとどめる。水の流れをかたちにとどめる。重力をかたちにとどめる。見えないものを見えるようにすること。そのことに作家が覚えるワクワクするような高揚は、作品を見る者にたちまち感染してしまいます。

本展では新宮晋の“現在”を、新作を中心とする15点の作品によりご紹介します。その名も「新宮晋の宇宙船」。さあ、一緒に、新宮船長がいざなう楽しい宇宙の探索へと出かけましょう！

*新宮晋「この星に生まれて」(本展図録所収)より



「雲の日記」2016年



「空のこだま」2016年



「小さな花」2013年 いずれも長崎県美術館での展示時に撮影 ©Susumu Shingu

作家プロフィール 新宮 晋 (しんぐうすすむ/1937年大阪府生まれ)

東京藝術大学絵画科卒業後、イタリア政府奨学生として1960年に渡伊。ローマ国立美術学校にてフランコ・ジェンティリーニに師事し、絵画を学ぶ。ローマ滞在時に鉄線のフレームにキャンバスを縫い付けた立体作品を発表。帰国の翌年、1967年に東京の日比谷公園で開催した個展「風の造形」で注目を集め、大阪万博(1970)への出品作家に選出される。1971年にはハーバード大学視覚芸術センターより客員芸術家として招聘されるなど早くから海外においても高い評価を受け、以後、一貫して風や水などの自然エネルギーで動くサイト・スペシフィックな彫刻を制作し、国内外の各所に設置。レンゾ・ピアノをはじめとする建築家とのコラボレーションも手掛ける。恒久設置の作品制作と並行し、「ウインドサーカス」(1987-90)、「ウインドキャラバン」(2000-01)など多くのプロジェクトやワークショップも世界各地で展開。また、「いちご」(文化出版局、1975)をはじめとする絵本の制作や演劇の企画・演出など、彫刻の世界に止まらない多彩な活動を繰り返している。2014年、兵庫県立有馬富士公園に12点の作品を常設する野外美術館「新宮晋 風のミュージアム」がオープン。現在は2007年に開始したプロジェクト「ブリージング・アース」の実現に向け活動中。自然エネルギーのみで自立する新たな共同体の創生を目指すこのプロジェクトへの取り組みは、ドキュメンタリー映画「ブリージング・アース：新宮晋の夢」(監督：トーマス・リーデルスハイマー、2012)に収められている。第4回吉田五十八賞(1979)、第18回日本芸術大賞(1986)、第43回毎日芸術賞特別賞(2002)、第20回現代日本彫刻展大賞(2003)、第4回円空大賞(2007)など受賞多数。兵庫県三田市在住。

関連イベント □ 詳細はホームページをご確認ください。

アーティストトーク「この星に生まれて」

これまでとこれからの活動、作品の世界観についてお話をいただきます。

日時 | 11月3日(木・祝) 16:00-17:30

定員 | 先着120名(いす席70名)

会場 | 横須賀美術館 エントランスホール

参加費 | 無料

学芸員によるギャラリートーク

1. 大人向け

日時 | 11月19日(土)、12月15日(木) 14:00-

申込み不要。直接会場(1階展示室)にお越し下さい。

参加には観覧券が必要です。

2. 親子向け

子どもと一緒に楽しく展覧会をめぐる。ご家族でご参加ください。

日時 | ①11月12日(土)、②12月11日(日) 各11:00-12:00

対象 | 5歳から小学4年生の子どもとその保護者

定員 | 各5組

参加無料。事前申込制(①10月27日(木)必着②11月25日(金)必着)。ただし、保護者の方は観覧券が必要です。

託児サービス

11月18日(金)、12月13日(火)の13:30-16:00に託児サービスを実施します(定員5名、事前申込制、対象は1歳～未就学児)。利用日・保護者の氏名・住所・電話番号・託児を希望するお子さまの人数・年齢・性別をご記入の上、ハガキかEメールでお申し込みください。締切りは各実施日の2週間前まで。ただし、定員(各日5名)に達し次第締め切ります。

上映会「ブリージング・アース：新宮晋の夢」

トーマス・リーデルスハイマー監督(2012年/93分)

日時 | 11月5日(土)、12月3日(土) 18:10-19:40 定員 | 先着120名(いす席70名)

会場 | 横須賀美術館 エントランスホール 参加費 | 無料

ワークショップ「新宮晋さんと絵本をつくらう」

「いちご」(1975、文化出版局)から最新作「ちいさなふしぎな森」(2015、BL出版)まで、数多くの絵本を手がけている新宮さんの指導をうけて、オリジナルの絵本をつくりまわす。

1日目 「相談会」11月3日(木・祝) 10:30-12:00 ワークショップ室

参加者がつくりたい絵本のコンセプトやストーリーをひとりずつ聞き、新宮さんがアドバイスをします。

2日目 「発表会」12月25日(日) 15:00-16:30 ワークショップ室

この日までにつくってきた絵本を、たがいに発表しあい、新宮さんの講評をいただきます。

*2日間とも参加してください。

対象 | 小学3年生以上(小学生の参加には、保護者が必要です。)

定員 | 10名

参加料 | 300円

参加方法 | 事前申込制。参加希望の方は、参加人数(1通につき4名まで)、代表者の連絡先(郵便番号・住所・電話番号)、参加者全員の氏名・年齢を明記のうえ、はがきかEメールで「新宮晋 WS」係までお申し込みください。10月20日(木)必着。応募多数の場合は抽選となります。抽選結果等は、郵便でお知らせします。

同時開催 所蔵品展 / 谷内六郎(週刊新潮 表紙絵)展 (12月12日-16日の間は展示替のためご覧になれません)

予告 第69回児童生徒造形作品展 2017年1月12日(木)-1月30日(日)

交通アクセス

[電車をご利用の場合]

- 京浜急行「馬堀海岸」駅もしくは JR「横須賀」駅から観音崎行きバスで「観音崎京急ホテル・横須賀美術館前」下車徒歩2分
- 京浜急行「浦賀」駅から観音崎行きバスで終点「観音崎」下車徒歩5分

[お車をご利用の場合]

- 横浜横須賀道路馬堀海岸ICから3km
- 駐車場(120台):最初の1時間310円 以降150円/30分
- 上限1,510円/日(展覧会ご観覧の方は1時間無料)無休

横須賀美術館

YOKOSUKA MUSEUM OF ART

お問い合わせ: 〒239-0813 横須賀市鴨居4丁目1番地

TEL: 046-845-1211(代表)

ホームページ <http://www.yokosuka-moa.jp/>

モバイルサイト <http://mobile.yokosuka-moa.jp/>

